

## 令和3年度 事業報告

北海道における高齢化率（令和3年1月1日現在）は、32.1%となっており、全国平均を3.4ポイント上回っているなど少子高齢化が急速に進行している。

また、道内会員の平均年齢も新規加入者の減少及び高齢化などから令和3年度では74.2歳となり、前年度と比べ0.4歳と大幅に伸びたところである。

このような中、道内のシルバー人材センター事業については、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（サポート事業）や、平成30年度からスタートした第2次会員100万人達成計画（北海道版）に基づき、会員拡大や就業先の確保等のための事業を展開したが、年度を通じて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下「コロナ禍」という。）により厳しいセンター運営を余儀なくされた。

会員数については、各センターの能動的な取組（各種入会促進イベント等）が、コロナ禍の中で中止を余儀なくされるなど、著しい影響を受けた結果、前年度を637人下回る15,852人となった。

個別のセンターの状況では、令和2年度より会員が増加したセンターは10センターあった。

コロナ禍の中でも各センターが取り組んだPDCAによる目標管理と地道な取組が一定の成果を上げていることから、引き続きPDCAによる目標管理等に取り組んでいく必要がある。

シルバー事業関係では、請負委任事業における契約金額については、77,968千円減の5,500,144千円となった。

一方、労働者派遣事業については、36実施事務所がシルバー派遣を行い、契約金額は940,068千円となり前年度に比べ87,639千円の減となった。

適正就業の観点や会員のニーズに応じた新たな職域を開拓するうえでも効果的な労働者派遣事業と、高齢会員のペースに合わせた就業が比較的可能な請負委任事業と、それぞれの事業について需要確保を図りながら、会員の選択肢を広げていくことが重要である。

近年、急速な少子高齢化社会が進展する中、人手不足分野や保育及び介護等の現役世代を支える分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対し、企業や地方自治体からも大きな期待が寄せられている。

また、就業を通じて健康を維持し、収入を得るという側面だけではなく、社会参加活動や、社会貢献活動を実施しているシルバー人材センターが果たすべき役割はますます重要になっている。

令和3年度における各事業の取り組み状況は次のとおりである。

## 1 普及啓発事業

### (1) 普及啓発促進月間の設定

① 10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」には、各センターにおいてシルバーフェスティバル、ボランティア活動等の地域に密着した多彩な取り組みを計画していたが、その多くはコロナ禍により中止や縮小を余儀なくされた。

連合会においては北海道知事、北海道労働局、北海道市長会、北海道町村会、経済6団体等関係機関への協力要請を行った。

② 「シルバーの日」の設定 [ 令和3年10月16日(土) ]

10月の第3土曜日が「シルバーの日」として設定されており、各センターにおいて普及啓発活動や社会奉仕活動等を計画したが、その多くはコロナ禍により中止や縮小を余儀なくされた。

### (2) シルバーフェスティバルの開催

10月に近隣センターと連携し札幌駅地下歩行空間において普及啓発活動を計画していたがコロナ禍により中止を余儀なくされた。

### (3) 会報の発行

センター役職員、会員等を対象に機関紙「道シ連」を年2回発行した。

発行月	10月、1月
発行部数	各1,800部
配布先	各シルバー人材センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、高齢者事業団

### (4) 事業概要の作成

連合会事業の実施状況及び各センターの事業実績を中心に編纂し、関係機関・団体への参考資料として配付した。

発行月	8月
発行部数	400部
配布先	各シルバー人材センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、高齢者事業団

### (5) 高年齢者雇用就業パネル展の開催

北海道経済部、北海道高齢・障害者雇用支援センターと共催、北海道労働局の後援で高年齢者就業事業等のパネル展を実施し、広く高年齢者就業事業等の周知・啓発を行った。

開催日	令和3年9月15日(水)～16日(木)
-----	---------------------

場 所	北海道庁 1 階ロビー
内 容	パネルの展示、リーフレット配布、石狩市 S C 木工製品展示

#### (6) 普及啓発リーフレットの作成

新規会員募集、発注者向けとして請負用啓発リーフレット及び派遣用啓発用リーフレットを作成、各センターへ送付し、普及啓発及び就業開拓の際に活用した。

作 成 月	8 月
作 成 数	請負用啓発リーフレット 6, 500 部 派遣用啓発リーフレット 3, 000 部
配 布 先	各シルバー人材センター

## 2 就業開拓等事業

### (1) 就業開拓の推進

当連合会として、北海道知事、北海道労働局長、自由民主党北海道支部連合会長、公明党北海道本部長、立憲民主党道連会長、国民民主党北海道総支部連合会長に対し、インボイス制度の特例的措置についての支援を求めるとともに、シルバー人材センター会員の就業先確保のための公共事業発注、補助金確保、就業機会拡大、収支相償の緩和等についての訪問要請を予定していたがコロナ禍により自民党、公明党のみ訪問要請、その他は文書で要請を行った。

また、経済 6 団体等に対しても、シルバー事業の P R と併せて受注確保についての文書要請を行った。

なお、理事長会議において就業機会の拡大について検討することとしていたがコロナ禍により開催できなかった。

## 3 交流研修事業

### (1) 業務担当者研修会の開催（オンライン会議）

開 催 日	令和 3 年 10 月 21 日（木）
内 容	道シ連説明 ・ 個人情報管理及び職場のハラスメントについて ・ インボイス制度について

### (2) 役員研修会の開催（コロナ禍により中止）

### (3) 派遣実務担当者研修会の開催（オンライン会議）

開 催 日	令和 4 年 1 月 18 日（火）
内 容	道シ連説明 ・ 派遣事業における留意点について

#### 4 指導相談事業

##### (1) 個別訪問指導

10ヵ所のシルバー人材センターを訪問し指導・相談を実施した。

指導・相談実施状況

9月 札幌市 SC、江別市 SC

10月 恵庭市 SC、苫小牧市 SC、長沼町 SC、紋別市 SC

11月 美幌町 SC、美深町 SC、伊達市 SC、室蘭市 SC

##### (2) 補助金関係書類作成指導

会計担当者交代等により指導が必要となったセンターに対して、個別に訪問及びオンラインを活用して実務について研修した。

#### 5 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業推進基本計画に基づき、安全就業意識の啓発や事故防止の徹底を図るため、安全就業推進員研修会を開催した。

また、安全適正就業ガイドラインの周知について、各センターを通じて実施した。

##### (1) 安全・適正就業推進委員会の開催

コロナ禍によりオンライン開催とし、各委員と安全に関する協議を行った。

##### (2) 安全就業推進員研修会の開催（オンライン会議）

各センターの安全就業推進委員を対象に、シルバー事業として実施している請負・委任に係る安全就業対策の緊要性の認識を高めるとともに、機械除草による賠償事故が多く発生していることから、草刈り・剪定作業を中心とした安全就業対策について、シルバー人材センターの作業場면을イメージして専門家からの講演を実施した。

開催日 令和3年11月11日（木）

内容

・講演 「危険予知活動能力向上セミナー」

講師 中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター  
所長 山越 誠治 氏

##### (3) 安全就業強化月間の設定

全シ協の安全就業強化月間（7月）に併せて設定し、各センターと連携・協力して会員の安全意識の高揚を図った。

#### 6 調査研究事業

##### (1) 資料の収集と提供

労働市場、福祉・介護等関係資料の収集、集約、提供を行った。

月刊シルバー人材センター（全シ協刊行）を北海道・北海道労働局等関係機関、報道機関、一定規模以上の高齢者事業団に配布した。

## (2) 医療費調査の実施

シルバー人材センター会員の健康意識、医療費の状況を把握するためのアンケート調査を札幌市シルバー人材センターの協力を得て実施した。

（調査対象者：就業実績のある会員 800 名 回答期限：令和 4 年 3 月末日）。

## 7 シルバー人材センター設置促進事業

(1) 未加盟高齢者事業団等関係機関に対し道シ連の機関紙「会報 道シ連」ほか関係資料を提供した。

(2) 令和 2 年度「事業概要」を道内の市町村、未加盟事業団に送付し、シルバー事業及び連合会についての理解と協力を求めた。

## 8 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に就職を斡旋する職業紹介事業について、各シルバー人材センターにおいて求職者に適合する求人の確保に努めた。

## 9 労働者派遣事業

令和 3 年度は道内 36 の実施事務所が事業を実施した。

シルバー人材センターと密接な連携を図り、労働者事業の円滑かつ適正な運営を図った。

就業時間拡大の取組については、令和元年 10 月 1 日に北海道知事から指定を受けたところであり、当面、指定された業務拡大範囲の実績向上を図ることとしている。

### 【令和 3 年度 36 実施事務所実績】

●就業実人員 1,631 人 ●就業延人日 164,111 人日

●派遣件数 1,289 件 ●派遣事業収入 940,068 千円

## 10 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

北海道労働局から随意契約で受託し、新規会員の増加を目的とした説明会や、セミナー、就業体験や技能講習を実施した。

### 【取組状況】

・事業周知・広報 78 回（延）

{ 下記 52 回 + CM 24 回 + 新聞広告 2 回（企業向け、高齢者向け各 1 回） }

・説明会 41 回（参加者 290 人、入会者 164 人、就業者 93 人、就業率 56.7%）

（うちセミナー 5 回（参加者 37 人、入会者 20 人、就業者 20 人、就業率 100%））

- ・就業体験 8回（体験者7人、入会者0人、就業者0人、就業率0%）
- ・技能講習 3回（受講者24人、入会者4人、就業者3人、就業率75.0%）
  
- ・新規会員数 168人（事業目標20人）、達成率840%
- ・就業率 57.1%（就業者96人（職転会員12人を除く。）÷新規入会者168人）

### 1.1 女性対象イベントの開催

コロナ禍により全シ協からの具体的指示なく開催に至らなかった。

### 1.2 インボイス制度への対応

事前調整を経て11月に北海道議会自民党にインボイス制度の特例的運用を内容とした「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」の北海道議会採択について働きかけ、令和3年12月16日、原案通り全会一致で採択された。

### 1.3 諸会議の開催

会議名	開催年月日	開催場所
定時総会	第1回 令和3年6月17日（木）	決議の省略
三役会	第1回	コロナ禍により中止
	第2回	コロナ禍により中止
理事会	第1回	令和3年6月2日（水） 書面決議
	臨時	令和3年6月17日（木） TKP札幌とオンライン併用
	第2回	令和3年10月7日（木） TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第3回	令和4年3月17日（木） TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
理事長会議	第1回	コロナ禍により中止
事務局長会議	第1回	令和4年2月9日（水） オンライン会議